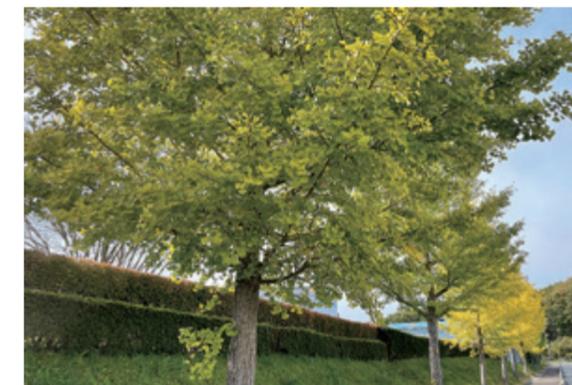


飯舘 百景

里の秋

一般社団法人「いいたて結い農園」がエゴマ（ジュウネン）の収穫を行っていました。無農薬で除草剤も使わず丹精込めて栽培したエゴマです。同農園のモットーは「一人ではできない農業もみんなで集まればできる」。地域の皆さんが生き生きと働き、価値ある農作物や六次化製品を生み出しています。



役場庁舎の裏手のイチョウも色づいてきました



秋晴れのスポーツ公園で園児がのびのびとお散歩



黄金色の穂波の上に広がる秋晴れの空（飯舘地区）

天高く馬肥ゆる秋―。突き抜けるように澄んだ青空の下で、景色が少しずつ秋の色に染まっていきます。道の駅でも「新そば」「新米」と書かれた文字が目につく季節になりました。実りの秋が訪れます。

村ではジュウネンと呼ばれることが多い「エゴマ」も収穫の時期を迎えました。大久保・外内行政区の皆さんが協働する『いいたて結い農園』は年毎に栽培地を広げ、無農薬での栽培に取り組んでいます。実を取る作業もその後の処理も、手作業で。品質にこだわった製品ができあがります。搾油機を備える加工場も整備し、注文を受けてから絞るフレッシュな「えごま油」も販売しています。（HPがあります。「いいたて結い農園」で検索を）

センター地区にある『いいたてスポーツ公園』にも、秋の陽射しが満ちていました。休日には、サッカーチーム、野球チームの練習や試合でにぎわい、小さい子どもからお年寄りまでの利用があります。また、すぐ近くにある『まじの里のこども園』の園児にとっては、秋を感じるお散歩コース。落ち葉のじゅうたんの感触を楽しんだり、グラウンドを思いっきり走ったり。かわいらしい笑い声が響いていました。